

い し だ ひ で み
石田秀三 さん
 こんにちは



日本共産党
鈴鹿市議会議員

ごあいさつ
市議会で24年
市民の声届けつつけて

34歳で市議会議員に初当選、以来6期24年、市民の皆さんの代表として働いてきました。市民の皆さんの願いを行政に反映すること、また行政が正しく行なわれているかチェックすること、を議員の仕事と心得て、毎議会質問に立ち、のべ95回、3代の市長と議論をたかかわせてきました。

今期も多くの問題に取り組み、介護保険料の引き下げ、

いっしょに

実現させましょう

- ◎ 中学校給食の実施を早く
- ◎ 子ども医療費無料を中学校卒業まで
- ◎ 国保税の一人1万円引き下げを
- ◎ 介護の負担へらし、介護施設や宅老所を各地に
- ◎ 非正規労働なくし、青年に仕事を
- ◎ 総合福祉センターの建設を
- ◎ 東西南北に図書館分館を
- ◎ 住宅リフォーム助成で「仕事おこし」を

- プロフィール**
- 1953年(昭28)伊船町で生まれる。神戸高校、静岡大学人文学部卒。
 - 1972年 大学在学中に日本共産党に入り、学生自治会で活動。
 - 1975年 鈴鹿市役所に入り、耕地課、公民館、図書館などに12年間勤務、職員労働組合役員も務める。
 - 1986年末 市役所を退職し、鈴鹿市議会議員に立候補。
 - 1987年 初当選。以後6期連続当選。鈴鹿亀山広域議会議長、国保運営協議会長など歴任。深伊沢小、鈴峰中PTA会長も務める。
 - 現在、党鈴鹿市委員長、北勢地区常任委員。
 - 家族は、妻(教員)、母、敷地内に長男一家5人(長女、二男は独立)
 - 趣味は山登り、読書など



バイクで住民に声かけながら議会報告を配布します

鈴鹿民主商工会会長
 小川明彦さん

石田議員は、いつも市民目線でものごとを考え、弱きを助ける活動をすすめる、私たち市民、中小零細業者の頼みの綱です。雇用派遣切りのお金は、棲み家もお金もない人たちを、「派遣村」で何人も相談に乗り、多くの人に希望を与えてもらいました。また、国保税値上げのときは、いち早く私たちと「国保を良くする会」をつくり、鈴鹿民商もともにたたかい、成果を得ることができました。

このような石田議員を、私は心から応援します。

石田秀三さんは、ソフトで誰にでもやさしく、そればかりか、一本筋がとおっていて、筋金入りであることが、一番気に入っています。山登りや音楽、楽器が好きなのも素敵です。議員として、良いことは良い、悪いことはダメだとはっきりモノを言い、ちゃんと仕事をしていることに惚れ込んでいます。医療や介護、中学校給食、若い人や高齢者の問題、子宮頸がんワクチンなど、私たちの切実な要求をかなえる先頭になってくれている人です。

体に気をつけて、いつまでも一緒にがんばってほしいです。みんなが応援します。

主婦(国府町)
 藤本明子さん



北アルプス鹿島槍ヶ岳頂上で

石田さんに期待します

気軽に相談、いっしょに解決

たくさんさんの市民の生活相談にのり、福祉や税金、借金など様々な問題を、いっしょに考え、解決に向けて奔走。遠方の問題も共産党の地方議員ネットワークで対応しています。

09年「派遣切り」で多くの失業者が出た時期には、民主団体とともに「鈴鹿一日派遣村」を開き、住居を失った労働者に党事務所を提供し、生活用品を集め、支援する活動に全力をあげました。「困ったときには共産党」と、信頼されています。

石田秀三さんはこんな人

ハッキリ発言、しつかり報告

24年間、毎議会かならず質問に立ち、市民の声を届けるとともに、議会報告の「すずか民報」や「議会レポート」を定期的に発行し、市政の問題点や活動の成果を住民にお知らせしてきました。地元には自らバイクで全戸に配布する活動を、初当選以来つづけています。

住民の暮らしを守る政策を提案

市民の目線で行政をしっかりとチェック



国保・介護の学習会で報告

市民のための具体的な提案

子ども医療費無料化、入院は小学校6年まで引き上げ

乳幼児医療費無料化の年齢を、「3歳まで」から「就学前まで」に引き上げを求め、市は07年9月から引き上げました。しかし08年9月から県が制度化したことで、市予算にできた余裕を使い、さらに引き上げを提案、09年4月からは小学校6年までの入院が無料化となりました。

過大な水道計画を大幅変更、水道料値上げなし

長良川河口堰からの導水を前提とした、過大な上水道「5期計画」の見直しを、粘り強く求めてきました。08年12月、市は最大給水量を当初計画の76%に引き下げ、長良川導水を除外した計画に改めました。市民の負担増は年10億円から1億円に縮小、水道料金を値上げせずにいける見直しをつけました。

306号バイパス、半分開通

国道306号伊船バイパス計画の実現を、早くから何度も議会を取り上げてきましたが、09年3月、やっと南側の半分が開通しました。さらに間をおかずに北側の早期着工、全線開通すべく求めています。



半分開通した国道306号バイパス



10分の1に縮小した上水道槽配水池

介護保険料、半数の人が減額に

介護保険料見直しにあたり、6億円もためこんだ基金を使って引き下げよう提案。09年度からの3年間の保険料は、所得区分を6段階から11段階にふやし、低所得の人にやさしい方式に改善、54%の人が減額となりました。

中学校給食、実現まであと一歩に

87年の初めての選挙で「中学校給食」を公約にかかげ、以来何度も議会でも求めてきました。04年川岸市長は「中学校給食検討委員会」を作りましたが、その結論は「希望者に弁当販売」という的外れなもので、ひきつづき「本当の給食を」求めてきました。08年ふたたび「検討委員会」が開かれ、10年3月、ついに給食を実施する答申が出され、実現に向けての取り組みが始まりました。

「おかしい」と指摘、改善策しめす

生活保護不正事件、ウヤムヤ解決を追及

全国に鈴鹿市の汚名を広げた「生活保護不正支給事件」。厚労省から「不適正」とされ返還した保護費5800万円のうち4000万円を、

職員共済組合から穴埋めしてウヤムヤにしようと図ったことを正面から追及、「市長は退職金返上するなど責任を明らかにせよ」と求めました。

国保税値上げ、5億円繰り入れで止められる

10年度国保税の10%引き上げに反対し、全国の多くの自治体で行なっている一般会計からの繰り入れを、

全国平均の一人1万円、5億円おこなえば、当面の引き上げは避けられると主張しました。

2人で出動する消防車なくして

消防車や救急車は基準どおり配備されているのに、消防職員が少ないために、5人乗車が基本のところを2人、3人乗車で出動している実態

を明らかにし、市民の安全を守るために消防職員をふやして改善するよう求めました。



「非正規切り」やめてと国会議員団とともにホンダ本社へ（右端）

市庁舎の13階に共産党控室があります